

地球が生きる

私たちは、無意識に水を使っています。身近にはたくさん水があり、それがあたりまえになっっているからです。蛇口をひねると水が出て海や川があります。ですが、普段から聞きませんか？「節水を心がけてください。」や、「水などの資源を大切にしましょう。」などの言葉。これが耳に入ったみなさんはどう思いますか。「水はたくさんあるんだから、別にいいや。」と思う人もいれば、「そうだな、気を付けよう。」と取り組む人もいると思います。私の場合、「水だけに視点をおくだけはいけない。自然を守られなければ、水を守ることはできない。」と考えます。つまり、自然と水は「密接」に関わっているということです。

例えば、森や山には川があります。これは、水が流れる川を森や山が守もってくれている

檜原市立光陽中学校 二年

植田 莉子

ということですが。そんな大事な木々を伐採してしまうとどうなるでしょうか。いつか川は絶え水が失われることになるでしょう。水は、森林のふかふかの土にためられます。そんな土は密度が低いです。吸い込まれた水は落ち葉の蓄積により、蒸発を防がれます。また、落ち葉や地下の土により雨水が浄化されます。しかも、汚れが取り除かれるとともに、土や石に含まれているミネラル分を吸収して、新鮮なおいしい水が出来あがるのです。しかし、このような緑のダムが消えると、水がためられず、同時に生物や自然も消えてしまうことになりす。

森林の木々は水により生きることが出来ます。これは、水も同様。森の大地がきれいな水を育んでいるのです。木々や下草が大地の「傘」の役割をしているのです。

そんな中、都市開発や道路開通のため、山が削られ、森林伐採が行われていきます。つまり、傘に穴があき水を守る事が出きないのです。また、川などに油、洗剤などの有害な物質を流されてしまうと、それを取り入れた魚などの生物、植物の生命をうばってしまいます。

先程も述べた言葉、「節水を心がけてください」や「水などの資源を大切にしましょう。」など。私たちは、これを口にしながらも、自らの手で、知らぬ間に自然を破壊してしまっているのです。水、自然、生物は大きな1つの「わ」なのです。「わ」の一部が欠けてしまうと、つづけて、他の部分が無くなるのです。

これらのことから、水は人間だけでなく、自然ともつながっていることが分かっていただけだと思います。なので、森林の伐採や川の汚れなどで自然環境を破壊してしまうと水あるいは私たち人間など生物の生きる所が減ってしまいます。私たち生物の生活を守るためには、水だけを大切にするのはなく自然環境のすべてを守らなければならぬと私は

思うのです。そのためには、1人1人が自然保護を心がけることが大切だと思います。この世界の水、自然、生物を守ることは私たちが命を守ることにつながるのでは無いでしょうか。